

## 事業提案書要約（草の根協力支援型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	インドネシア共和国
2. 事業名	タンジュンプティン自然保護区の市町村で地域独自の環境教育導入事業
3. 事業の背景と必要性	<p>ボルネオ島南部タンジュンプティン国立公園とユネスコエコパーク周辺は泥炭地開発規制区域だが国立公園以外ほぼ油ヤシ畑になっている。同地域は年間2万5千人が訪れる観光地だが村人は観光業に携わる人は少なく、市街地の学校で調査を行った結果90%以上の生徒が国立公園に行った経験が無く住民の環境意識が低い事がわかった。</p> <p>泥炭地を含む生物多様性の高い地域の教育遅延の弊害は住民の地域財産の有効的活用を阻害し持続可能な開発を遅らせている。</p> <p>課題解決に自然を利用した持続可能な社会のために住民の環境保全のボトムアップが必要であるため、地域の希少性と特異性を学校教育で学び住民の環境意識の向上の上で産業の多様化が必要である。</p>
4. プロジェクト目標	対象地域において環境教育を行える学校教員が育成される。
5. 対象地域	中央カリマンタン、コタワリンギン郡、クマイ町とパンカランブン市
6. 対象地域を管轄する大使館及び領事館	ジャカルタ日本大使館
7. 本事業の対象となる人々	<p>直接受益者：対象地域教員 6名</p> <p>間接受益者：児童生徒 200名、対象地域住民 400名</p>
8. 事業活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境教育を指導する教材ができる</li> <li>2. 域内の教師が研究会に参加できる仕組みができる</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. 研究会で教材製作の見直しと準備</li> <li>1-2. 研究会で授業デザインの協議と製作</li> <li>1-3. 研究会で教科書と指導書の製作と本邦研修（サンプル. 2. 0製作）</li> <li>1-4. 研究会で授業の練習</li> <li>1-5. パイロット校で模擬授業</li> <li>1-6. 授業デザインとサンプルの評価と改善</li> <li>2-1. 研究会が事業報告会を地域の教育関係者に行う</li> <li>2-2. 研究会で事業普及のための組織強化を行う</li> <li>2-3. 研究会でWeb教材の製作</li> <li>2-4. パイロット校で公開授業と事業説明のシンポジウムを開催する</li> <li>2-5. 研究会で次年度の事業計画を協議する</li> </ol>
9. 実施期間	（西暦）2021年12月～2024年3月（2年4ヵ月）
10. 事業費概算額	9,800千円
11. 事業の実施体制	現地教育委員会（DINAS）と3校の教師、現地G/Pヤヨリンと当団体で地域教材製作委員会（委員会）を組織する。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	一般社団法人マニスファンクラブ
2. 活動内容	当団体は人と環境と経済が調和した持続可能な循環型社会を実現することを目的とし、先進国と途上国で互いの課題を学び合い解決の方法を創造する。環境教育、環境保全、エコ観光のバランスのとれた社会づくりおこなう人材を育成する。